

「ベースラインカリウム濃度が高カリウム血症時の心電図 変化に及ぼす影響」に対するご協力をお願い

研究責任者 畔上 達彦
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 腎臓内分泌代謝内科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2014 年 3 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日までの期間に実施された外来採血にて、血清カリウム濃度が 6.5mEq/L 以上となった方。

2 研究課題名

承認番号 20241201

研究課題名 ベースラインカリウム濃度が高カリウム血症時の心電図変化に及ぼす影響

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学病院

研究責任者

(職位) 専任講師 (氏名) 畔上 達彦

4 本研究の目的、方法

高カリウム血症は、最も頻度の多い電解質異常の一つです。原因はさまざまですが、特に慢性腎臓病がよく知られており、腎機能の低下に伴ってリスクが高まることが知られています。これは腎機能低下そのものの影響に加え、腎臓病治療に用いられる一部の薬剤が影響している場合があります。高カリウム血症は心臓機能に影響を及ぼし、時に致死的不整脈を引き起こす可能性があるため、心電図による評価が不可欠です。しかし、高カリウム血症の際の心電図の変化には個人差があり、どのような患者さんがよりリスクが高いのかは、まだ十分に分かっていません。

今回、私たちは、カリウム濃度が急に上昇した患者さんほど、心電図に変化が生じやすいのでは

ないかと考えました。本研究では、電子カルテのデータを利用し、高カリウム血症を経験された患者さんの普段のカリウム濃度が、高カリウム血症時の心電図にどのような影響を与えるかを調べさせていただきます。

5 協力をお願いする内容

高カリウム血症を経験された方のデータを使用し、普段のカリウム濃度と心電図変化の関連を評価するための解析を行わせていただきます。冒頭に述べました通り、新たなサンプルの取得は一切ございません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 03 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実施施設 慶應義塾大学病院 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

実務責任者：中山 堯振 腎臓内分泌代謝内科

連絡先：03-5363-3796

FAX：03-3359-2745

E-mail: takashin.nakayama@keio.jp

なお、お電話でのご連絡は可能な限り診療時間中[月曜日～金曜日および第 2・4・5 週の土曜日(ただし祝日は除く)、午前 8 時 40 分から午後 4 時 30 分]にお願いいたします。

以上